

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20229001	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	多核金属触媒の創製を基盤とする医薬合成の革新	研究代表者 (所属・職)	柴崎 正勝 ((財) 微生物化学研究会・微生物化学研究所・所長)

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)	
<p>本研究は新規触媒的不斉反応開発及びその素反応を重要医薬品・医薬品開発候補化合物群の効率的な不斉合成に応用したものである。本研究による成果は新たな不斉触媒設計指針として極めてインパクトの高い研究であり、著名な学術雑誌に4誌以上掲載され、成果に客観性が認められる。</p> <p>また、その成果は具体的にタミフルの効率的な合成法として応用され、高く評価されている。</p>	

【平成25年度 検証結果】

検証結果	<p>本研究は、新規金属触媒の創製とその医薬品の効率的な不斉合成への適用を目指したものである。本研究では数多くの新規触媒が開発され、それらは抗インフルエンザ薬のオセルタミビル、ザナミビル、高脂血症薬のアトルバスタチンの効率的な合成に応用された。今回の研究で創製された新規触媒は、様々な重要医薬品の安価な大量合成を可能にする。本研究は有機合成分野への貢献が極めて高く、社会的波及効果も大きいと評価される。</p>
A+	